

様式 2

平成 30 年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

学校名 下田市立浜崎小学校

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

1 実践テーマ	【Ⅲ・Ⅴ】
2 実施対象者	5年生（12名） ※児童会行事は1～6年児童（109名）と地域の方・保護者・新入生 ※杉村選手講演会については1～6年児童（109名）と保護者・職員
3 展開の形式	（1）学校における活動 ① 教科名（総合的な学習・学活）行事名（児童会行事：こどもの国） ② その他（ ） （2）地域における活動 ① イベント名（ ） ② その他（ ）
4 目 標 （ねらい）	・5年生12名が総合的な学習のテーマを『福祉って何だろう』とし、主にスポーツを通して、障がい者と健常者が一緒に楽しむことができる社会について考えたり、福祉についての理解を深めたりする。 ・パラリンピック競技の中から、『ボッチャ』を取り上げ、5年生が実際に体験し競技内容を知った上で他の学年に教えたり、ボッチャ選手として活躍する杉村英孝さんと交流したりすることを通して、ボッチャ競技への興味関心を高めるとともに、ボッチャ競技について啓発する。 ・障害のあるなしにかかわらず、スポーツに参加する権利があることや多様性を認める共生社会について学ぶ。
5 取組内容	① 総合的な学習 『ボッチャ体験教室』 平成30年10月29日（月）10：30～11：20 5年生12名が下田市スポーツ推進委員（5名）からボッチャ競技を教えていただき、体験した。 この体験後、福祉協議会の方と車椅子体験教室を行う。車椅子を借りて、しばらく車椅子で生活した後、ボッチャも体験し、健常者が立って行う時との違いを体験。 ② 児童会行事 『こどもの国』にてボッチャ体験 平成30年12月14日（金）13：15～14：30 子どもたちの遊びの中に、ボッチャ競技を取り入れ、全校児童や来校した保護者、新入生、地域の方も体験した。

	③ 全校行事 『杉村選手とボッチャ体験をしよう』（講演・実技体験） 平成31年 1月30日（水）10：30～12：10 伊東出身で現役パラリンピアンとして活躍している杉村選手を招聘しリオパラリンピックの体験や競技生活等についての講演や、子どもたちと共にボッチャの実技体験をしてもらう。 特に、5年生は杉村選手との交流が福祉学習のまとめの機会となり、1月31日（木）の総合的な学習発表会に生かすことができた。
6 主な成果	・5年生が総合的な学習のテーマを追究するために、『I'm POSSIBLE』を活用したパラリンピック理解をスタートに、ボッチャ競技の体験や、ボッチャ選手の杉村さんとの交流をしたことで、健常者・障がい者にかかわらず誰もがスポーツを楽しむことができることやパラリンピックについて理解を深めることができた。 ・全校児童が、現役アスリートである杉村選手の講演会に参加したことで、ボッチャ競技やパラリンピックに興味をもったり、メダリストになるためにどのような努力をしているか知るとともに、自分たちにできることはないか考える良い機会となった。 ・5年生が学習したことを総合的な学習会で発表したり、児童会行事でボッチャを教えたりすることを通して、地域の人・保護者・下級生も、障害のあるなしにかかわらず、スポーツに参加する権利があることや共生社会について考えることができた。
7実践において工夫した点（事業の特色）	・学びがつながるように、オリパラ事業と福祉学習をリンクさせた。 ・中心学年は、5年生だったが、他学年・地域の方・保護者なども事業に参加できるようにした。 ・下田福祉事務所、下田市スポーツ推進委員等、地域にある機関も活用し、事業の啓発を図った。
8主な課題等	・現役アスリートを招聘する場合は、大会参加等もあり予定を組むのが大変である。 ・障がいをもつ方が来校する場合、トイレや段差等、受け入れに支障があることがたくさんあった。 ・全校児童、地域、保護者が、事業に参加できるようにしたいが、準備等がおおがかりになってしまう。
9来年度以降の実施予定	・2020東京オリパラまで、あと1年なので、来年度も事業に参加したいと考えている。来年度もパラリンピック関係で現役アスリートを招聘し、講演だけでなく、実演見学や体験活動も行いたい。 ・来年度も中心学年は5年を考えているが、全校児童が事業にかかわれるように計画したい。 ・ボッチャ用品も購入したので、体育や遊びなどで取り入れていく。